

## 私は誰？

～立教小学校の実験からはじまること～

### [立教小学校、ICタグで登下校確認](#)

無線ICタグ(RFID)をランドセルに入れておくだけで、校門を通ると自動的に認識し、保護者は携帯やPCから子供の登下校時間を確認できるというものです。

無線ICタグを持たない人が校門を入ろうとすると、警報が鳴り、侵入を防ぐそうです。

会社で利用すれば、タイムカードを押し忘れることがなくなりそうです。

### **動物に埋め込むICタグ、ライフチップ**

1989年から、イギリスではライフチップと呼ばれるICタグを野生動物に注射するようになりました。

野生動物の観察や固体識別に役立っています。

現在では、[日本でもペット用にライフチップを埋め込む](#)人もいます。

本質的には、PHSを持っている人がどこにいるかがわかる、[いまだこそーピ](#)  
[ス](#)と変わらないわけですが、動物の体に

ICタグを入れるというのが、怖い感じがします。

### **野菜にICタグ**

野菜にICタグがつくのは、かなり近い将来であろうと思われま

す。生産者情報などが記載されたICタグがつき、産地偽装などが出来なくなると期待されています。

価格情報を入れておけば、レジのわきを通るだけで、いくら買ったか計算されるようになるでしょう。

### **人体にICタグ？**

将来、人体にICタグを埋め込むようになるかも知れません。

無線ICタグでは置き忘れることもありますが、人体であれば忘れることはありません。

ICタグにクレジットカード機能やデビットカード機能があれば、スーパーで野菜を買うときに、持って出ただけで精算まで済んでしまいます。

これらは、今でも技術的に可能なことです。

多分、クレジットカード会社には、人体にICタグを埋め込んだ場合の利用方法を研究している部門があるんじゃないかね。

### **私は誰？**

立教小学校の登下校確認は、Webページでののだと思います。

保護者以外が見られなくするために、パスワードで認証するのだろうと推測します。

パスワードが、「私は保護者である」という証明になるわけですが、ICタグも「私が誰であるか」を証明するものです。

これから、ますます個人情報がネットワークに流れる時代になり、それは大変便利なものになりますが、漏洩の危険が常に存在します。

私が誰であるか、の証明がますます重要になっていきそうです。

[米国で運転免許にICタグ\(2004/10/06\)](#)